

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成28年8月】

■調査概要（データ対象期間：平成28年8月1日～8月31日）

- 調査期間：平成28年9月1日～9月26日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業21企業、製造業20企業、卸売業14企業、小売業33企業
飲食業18企業、サービス44企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：8月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

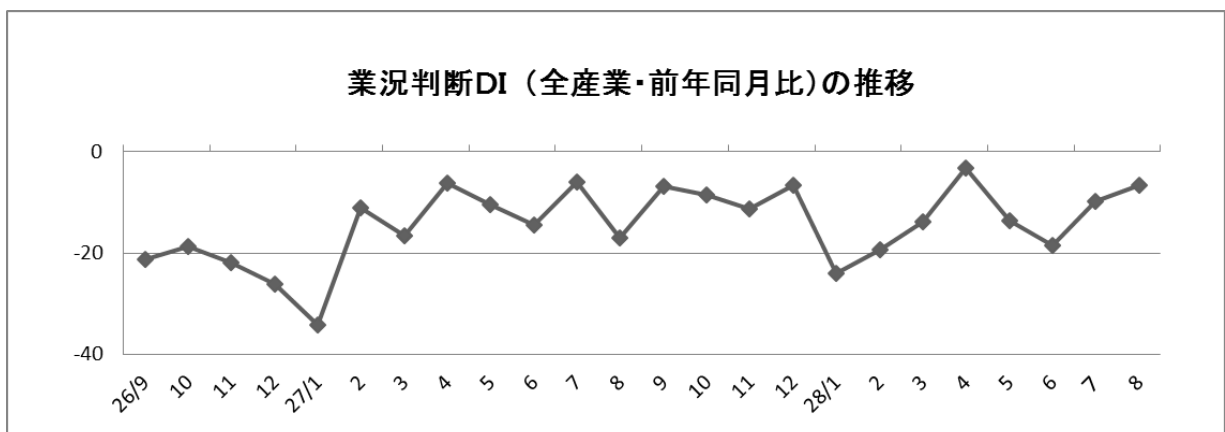
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲9.9）よりマイナス幅が3.3ポイント縮小し、▲6.6となった。業種別では、サービス業はマイナスからプラスに転じた。建設業は0からマイナスとなった。小売業、卸売業、飲食業はマイナス幅が縮小した。製造業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲14.6）よりマイナス幅が4.0ポイント縮小し、▲10.6となった。業種別では、飲食業はマイナスからプラスに転じた。建設業はマイナスから0となった。製造業はマイナス幅が縮小した。サービス業、小売業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	12.7 (11.3)	68.0 (67.5)	19.3 (21.2)	↗ ▲6.6 (▲9.9)	12.7 (13.9)	64.0 (57.6)	23.3 (28.5)	↗ ▲10.6 (▲14.6)
建設業	4.8 (13.0)	71.4 (74.0)	23.8 (13.0)	↘ ▲19.0 (0.0)	14.3 (13.0)	71.4 (65.3)	14.3 (21.7)	↗ 0.0 (▲8.7)
製造業	10.0 (15.0)	70.0 (65.0)	20.0 (20.0)	↘ ▲10.0 (▲5.0)	15.0 (10.0)	65.0 (60.0)	20.0 (30.0)	↗ ▲5.0 (▲20.0)
卸売業	14.3 (7.7)	50.0 (53.8)	35.7 (38.5)	↗ ▲21.4 (▲30.8)	7.1 (15.4)	50.0 (61.5)	42.9 (23.1)	↘ ▲35.8 (▲7.7)
小売業	9.1 (14.7)	75.7 (61.8)	15.2 (23.5)	↗ ▲6.1 (▲8.8)	6.1 (20.6)	69.7 (50.0)	24.2 (29.4)	↘ ▲18.1 (▲8.8)
飲食業	16.7 (13.3)	61.1 (46.7)	22.2 (40.0)	↗ ▲5.5 (▲26.7)	27.8 (13.3)	55.5 (33.4)	16.7 (53.3)	↗ 11.1 (▲40.0)
サービス業	18.2 (6.5)	68.2 (80.5)	13.6 (13.0)	↗ 4.6 (▲6.5)	11.4 (10.9)	63.6 (65.2)	25.0 (23.9)	↘ ▲13.6 (▲13.0)

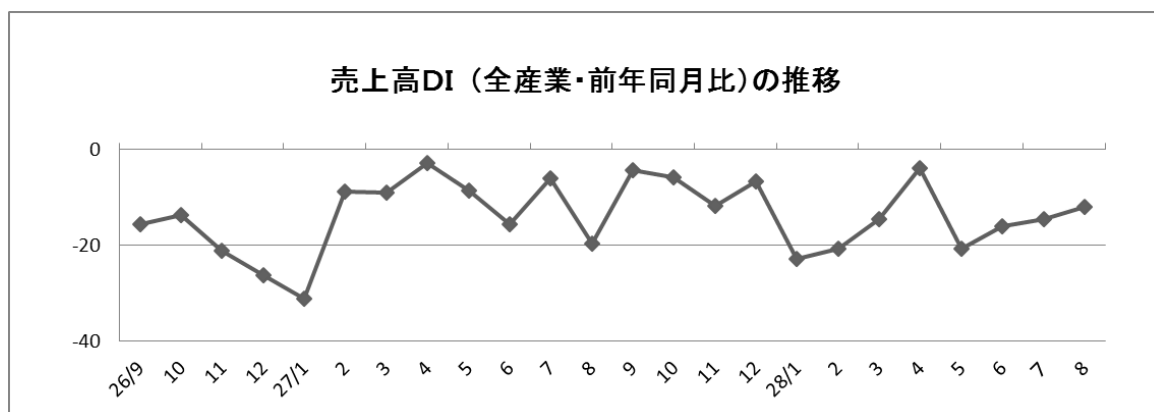
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲14.6）よりマイナス幅が 2.6 ポイント縮小し、▲12.0 となった。業種別に見ると、サービス業、卸売業、製造業、飲食業はマイナス幅が縮小した。小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

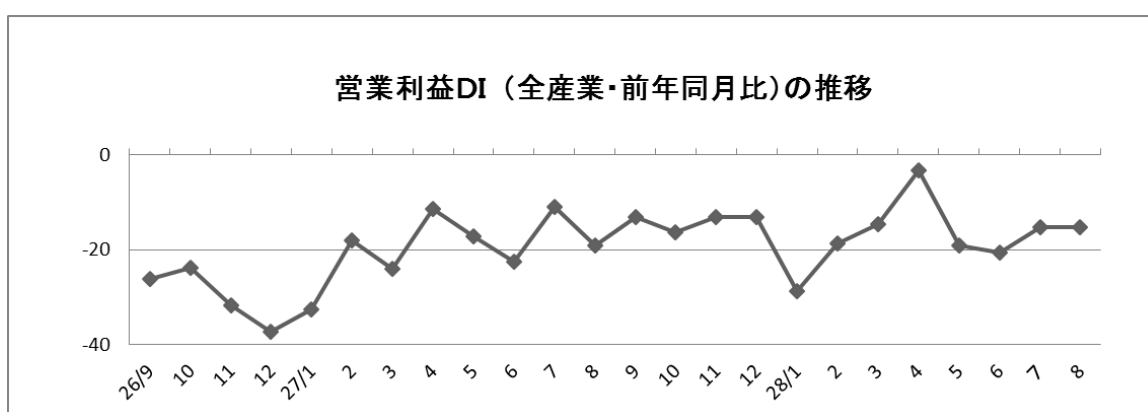


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲19.7	▲4.4	▲5.8	▲11.8	▲6.6	▲22.7	▲20.7	▲14.5	▲3.9	▲20.6	▲16.0	▲14.6	▲12.0
建設業	▲40.0	▲25.0	▲4.0	▲20.9	▲16.0	▲24.0	▲32.0	▲16.7	▲12.0	▲28.0	▲20.8	0.0	▲9.5
製造業	0.0	8.3	▲40.0	35.0	0.0	▲20.8	▲19.1	▲9.5	4.4	▲28.6	▲5.0	▲10.0	▲5.0
卸売業	▲11.8	5.9	▲6.6	▲18.7	▲21.5	▲28.6	▲6.2	▲13.3	▲15.4	▲25.0	7.1	▲30.8	▲28.6
小売業	▲25.0	▲15.1	▲18.1	▲25.0	▲12.5	▲43.7	▲34.3	▲18.1	2.9	▲17.1	▲24.2	▲17.7	▲18.2
飲食業	▲11.1	0.0	7.2	▲28.6	▲6.2	▲6.2	▲38.5	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲35.8	▲33.4	▲5.5
サービス業	▲20.4	2.2	13.1	▲9.5	4.3	▲10.3	▲4.7	▲11.4	0.0	▲7.0	▲13.3	▲10.9	▲9.1

3. 営業利益DI（前年同月比）

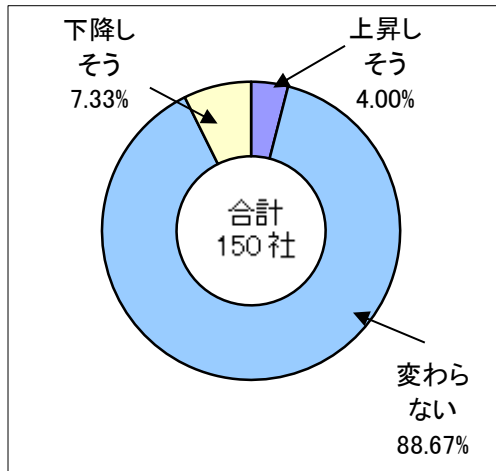
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲15.2）よりマイナス幅が 0.1 ポイント拡大し、▲15.3 となった。業種別に見ると、製造業、飲食業はマイナス幅が縮小した。サービス業、小売業、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲19.1	▲13.2	▲16.3	▲13.1	▲13.2	▲28.7	▲18.7	▲14.5	▲3.2	▲19.2	▲20.7	▲15.2	▲15.3
建設業	▲32.0	▲33.3	▲36.0	▲20.8	▲32.0	▲40.0	▲48.0	▲29.1	▲4.0	▲24.0	▲25.0	▲8.7	▲19.0
製造業	▲17.4	0.0	▲30.0	20.0	▲5.3	▲25.0	▲9.6	▲9.5	▲8.7	▲14.3	▲10.0	▲20.0	▲5.0
卸売業	▲11.8	17.6	0.0	0.0	▲14.3	▲28.6	31.3	13.3	30.8	▲16.6	0.0	▲7.7	▲21.4
小売業	▲19.4	▲24.2	▲42.4	▲30.6	▲9.4	▲34.3	▲34.4	▲18.1	5.9	▲22.8	▲27.3	▲8.9	▲15.1
飲食業	▲11.1	▲11.8	0.0	▲28.6	▲25.0	▲31.2	▲46.2	▲20.0	▲33.4	▲46.7	▲42.9	▲46.6	▲16.7
サービス業	▲18.1	▲13.7	8.7	▲9.5	▲4.3	▲17.9	▲4.6	▲13.7	▲6.7	▲6.9	▲17.8	▲13.0	▲15.9

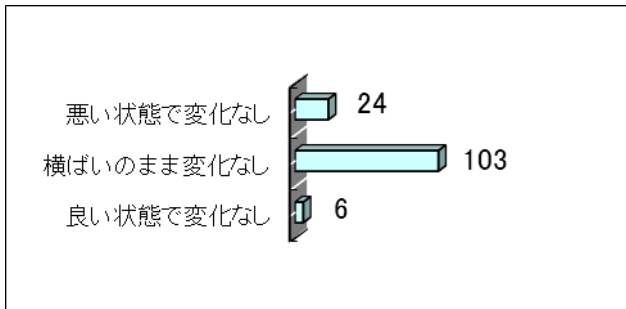
◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成28年9月～平成28年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.96ポイント減少し4.00%、「下降しそう」が3.36ポイント上昇し7.33%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲4.8)、製造業(▲10.0)、卸売業(7.1)、小売業(▲6.1)、飲食業(▲16.7)、サービス業(4.6)であった。

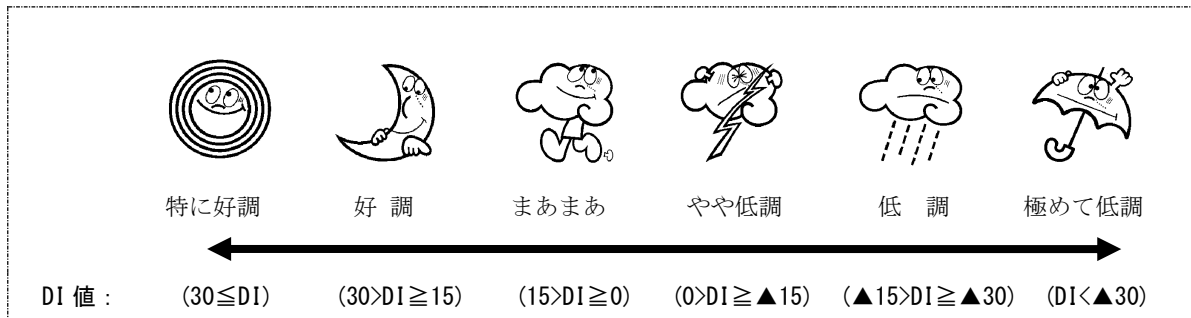
➡「上昇しそう」では、「しばらくは安定した需要が続きそうのため」(建設業)、「9月以降は回復基調のため」(卸売業)、「車検入庫台数増、9月は車両販売増を予定しているため」「現在仕掛中のものの売上が見込めるため」「9月補正予算の動向がカギのため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では、「公共工事の発注が9月で約8割終了するため」(建設業)、「個人消費低迷のため」「受注量が今月より減少するため」(製造業)、「全く手ごたえがないため」「閑散期なため」(小売業)、「一番忙しい月が終わったため」「宴会予約の少なくなる時期であり、例年稲刈りの時期はお客様が少ないため」「今年はほとんどの月が前年より売上が減少しているため」(飲食業)、「良い要因が見つからないため」「スタッフが退社したため」「求職者支援訓練応募者低迷のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

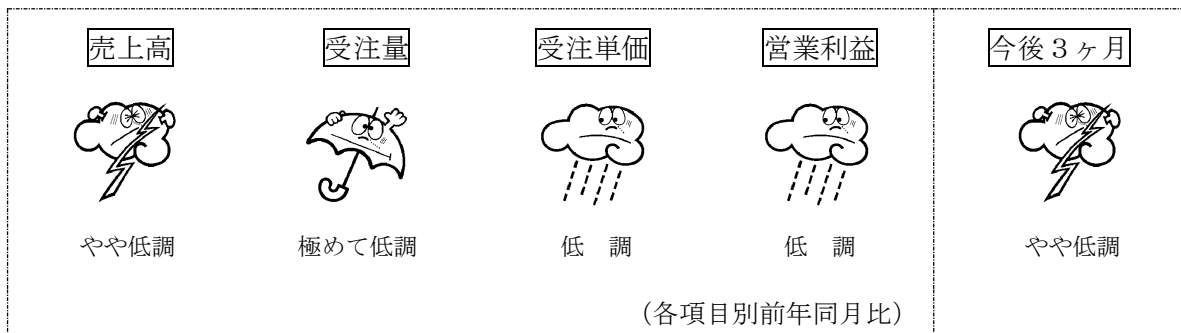


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5
受注量	▲ 36.0	▲ 54.2	▲ 16.0	▲ 29.2	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 16.7	▲ 16.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 38.1
受注単価	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 8.3	4.4	▲ 19.0
営業利益	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0
見通し	0.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.7	▲ 4.0	▲ 12.0	8.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	12.5	4.3	▲ 4.8

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

- ・一部に弱い動きが感じられる。
- ・来春以降は五輪関係の本格始動もあって、中、大型案件の建設計画が目白押しの状態になる。各社の稼働が高まり、業界全体が繁忙期を迎えることが予測される。

電気工事

- ・大型物件が全くなく、静かな状態が続いている。これから年末に向かい資金繰りが大変になりそうである。

建築・土木工事

- ・松本市は教育、医療に熱心と聞くがその予算はどこからくるのか疑問である。保有する資金の取崩しではなく税金をあげる努力をして欲しい。

土木工事

- ・アメリカ大統領はトランプになると予想する。米国すら批准しないTPPに何故日本だけが前のめりなのか理解不能である。

管工事

・12月までは予定があるが、大きな物件がないため継続が望めない。しばらくこのような状況が続くと思う。

総合建設

・国の9月補正による長野県への予算分配、特に中信地域への配分が気になる。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0
受注量	▲ 17.4	4.2	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 19.1	▲ 4.8	▲ 4.4	▲ 28.6	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0
受注単価	▲ 17.4	▲ 8.4	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 21.1	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 28.5	▲ 17.4	▲ 14.2	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0
営業利益	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0
見通し	▲ 17.4	▲ 4.2	▲ 10.0	5.0	▲ 15.8	4.2	14.3	▲ 33.3	8.7	4.7	▲ 5.0	10.0	▲ 10.0

<経営者の目・見方・etc>

印刷

・松本市内の同業者が後継者がいないため廃業をした。

機械

・国の切れ目のない経済政策に期待したい。

小型情報機器組立

・休みが多い為に、温度差の見え隠れがあり変化がつかみづらい。

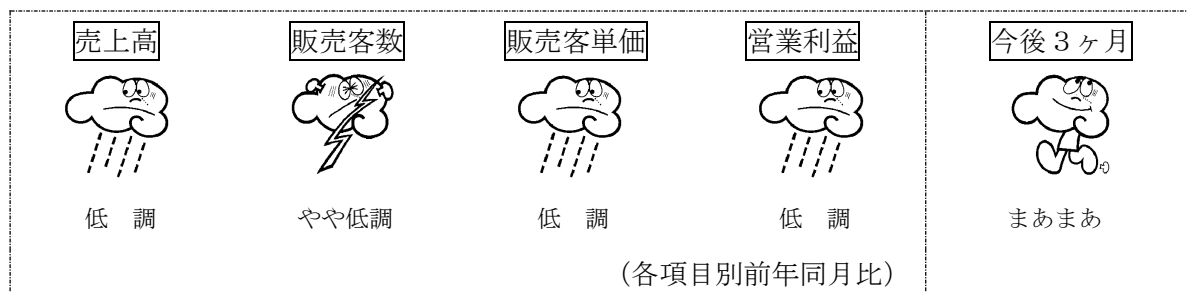
金属塗装

・夏休み、お盆で休日が多かった為、受注、売上が少なく採算は良くない。今後あまり良い情報は入ってこない。

金属加工

・日本、中国ともに特に大きな変化はない。

3. 卸売業



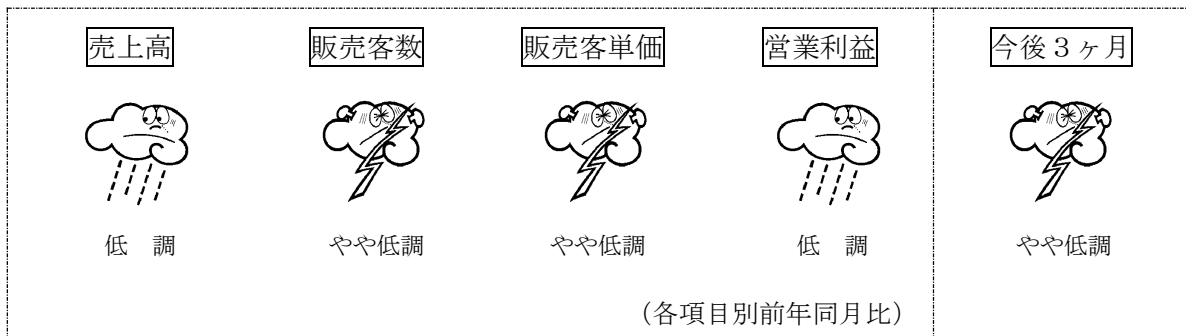
【項目別DIの推移】

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6
販売客数	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 35.7	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 14.3
販売客単価	0.0	0.0	▲ 6.6	▲ 25.0	▲ 21.5	▲ 42.9	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4
営業利益	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4
見通し	11.8	5.9	6.7	▲ 12.5	▲ 21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	8.3	▲ 7.1	0.0	7.1

<経営者の目・見方・e t c>

- 魚介類
自転車
土産品
青果
機械工具
金属製品
機械工具
- ・売上が多少良かった。
- ・スポーツ自転車、電気自動車の売上割合が増えた。
- ・休日が増え、入り込み数は増加している様だが、売上が全体的に低調である。お土産の売上が伸びていない。
- ・盆前は高温により水物、特に西瓜等の果物の動きが良かった。野菜は全国的に成育順調、販売は低迷した。盆明けは、全体に低迷。夏休みということもあり、給食などの供給もなく苦しい状況が続いた。後半、台風の北海道上陸もあり、今後に向けて状況が一変するものも出てくる。
- ・相変わらず不透明である、先行き良い話は無い。
- ・地元大型物件のイオンモール建設が具体的に動き出してきた。一部県内の加工先も秋から決まりだす。
- ・今年は、お盆休みの他に祝日の「山の日」もあり、工場も生産調整や長めの夏休みを取っている所もあった。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

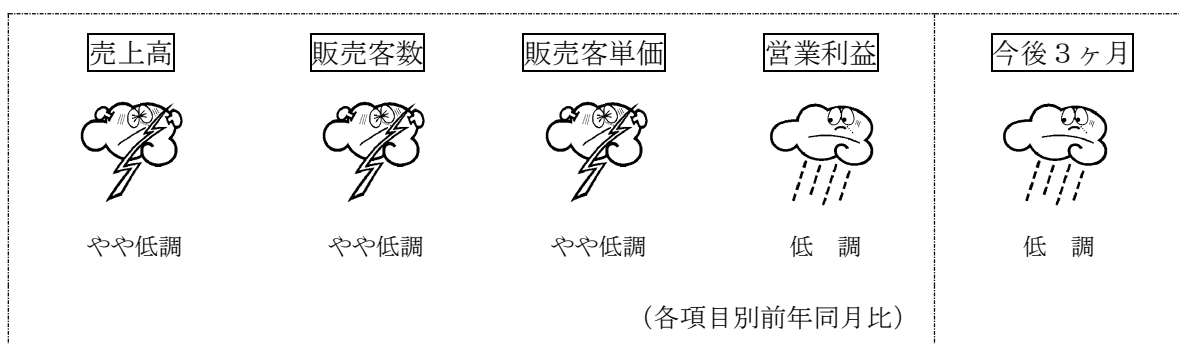
	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 25.0	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2
販売客数	▲ 30.6	▲ 27.2	▲ 18.2	▲ 11.2	▲ 9.4	▲ 43.7	▲ 37.5	▲ 24.2	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 24.2	▲ 11.8	▲ 6.1
販売客単価	▲ 22.2	▲ 12.1	▲ 27.2	▲ 22.2	▲ 15.7	▲ 15.7	▲ 37.5	▲ 9.1	0.0	▲ 22.8	▲ 18.1	▲ 17.7	▲ 12.1
営業利益	▲ 19.4	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1
見通し	2.7	0.0	▲ 15.2	▲ 2.8	0.0	▲ 3.1	0.0	6.1	2.9	▲ 2.8	0.0	▲ 2.9	▲ 6.1

<経営者の目・見方・e t c>

- 印章
書籍
書籍・木のおもちゃ
宝石
- ・大手通販事業者が参入し、業界は蜂の巣をつついた状態である。
- ・お客様単価を上げるよう心掛けた結果、過去10年で最高の8月であった。この好調を維持したい。
- ・近くの大型外食店が閉店したあとに、他の食材の外食店が入った。業種を問わず、経営が難しい時代になっている。来月は連休があるため売上の拡大につなげていきたい。
- ・お盆休みの頃までは賑わったが、その後は厳しい状況が続いている。当分は活性策が見つからない。
- ・週末のお客様の動きに偏りがあり、動向が非常に読みづらかった。

観光物産	・山の日、お盆休みが続き、例年だとお盆を過ぎるとお客様は激減するが今年には昨年ほどではなかった。しかし、業績のアップにはならなかった。
住宅機器	・春から低調な状況が続いている。増税が先送りになり建築予定のユーザーさんがスローペースになっているからだと感じる。
ショッピングセンター	・新たな休日「山の日」制定や各種イベントにより客足は増えているものの、売上の的にはほぼ前年並みだった。また、お盆時期のズレによって8月後半にピークがシフトしていた。
手芸材料	・お盆は来客数が多かったが、客単価が少なかった。
陶磁器	・スズキ・メソードの夏期学校に始まり、セイジ・オザワ松本フェスティバル、松本サマーフェストなど例年通りのイベントに加え、今年は「山の日」の式典もあり、街中は賑わいを見せた。民間であれば、「第25回」といった節目には盛大な記念イベントを企画して盛り上げを図るところだが、今年のセイジ・オザワ松本フェスティバルは公演数も少なく、もったいない感じがした。
パン	・気温の高い状態が続き、体の休まる時がなかった。イベントなど積極的に開催していきたい。イオンモールの件が気になる。
生鮮食品	・毎年7月、8月は一番売上が多いのだが、8月のお盆を過ぎると静かになった。後半は、台風、雨と続いたので卸売は良くない。
菓子	・都会の学校が休みの為、最終週まで家族連れの観光客が目立った。セイジ・オザワ松本フェスティバルで常連のお客様がリピーターとなって来店された。本格的な秋の観光シーズンに向け、商品等充実させたい。
薬局	・日中はほとんど人が歩いておらず、観光客のみであった。常連の方は電話での配送注文が多かった。木影で少し休める場所があるとよいと思う。その他、せせらぎを活用し、歩道にも水が流れるようにすると打ち水効果で少しは涼しくなるのではと思う。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5
販売客数	0.0	0.0	0.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 31.2	▲ 46.1	▲ 13.4	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 5.6
販売客単価	▲ 22.2	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 11.1
営業利益	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7
見通し	▲ 22.2	5.9	0.0	▲ 7.2	▲ 25.0	6.2	15.4	▲ 6.6	0.0	▲ 20.0	7.2	6.6	▲ 16.7

<経営者の目・見方・e t c>

- 寿司

 - ・新設された「山の日」、セイジ・オザワ松本フェスティバル、松本サマーフェスト、小学校の夏休み期間延長など誘客要因は多くあったが、結果的にその効果は限定的であったと感じる。その時々的情勢にあった、また数ヶ月先を先取りするような積極的なプロモーションを今後も仕掛けていきたい。
 - ・月初めからお盆の終わりまでは、いくつものイベントがあり調子よく売上が伸びた。しかし、盆過ぎから下旬には残念ながら売上が落ちてしまった。それでも今年は夏休みが例年より長かったので、家族連れのお客様が多かった。
- そば

 - ・全般的に客足が途絶えることなく、天候にも恵まれ穏やかな月となった。
- 郷土料理

 - ・暑い日で高原や山が人気があった。お盆は例年ほどの混雑もなく客足は長く分散した。
- 料理

 - ・夏は主となる食材が少なく、魚介類も海水の暖かさにより産地の変化による影響が出始めている。
 - ・今年は土・日、お盆と晴天が続き、観光客の入りが良かった。外国人の方も、日本慣れしてきた感じがする。台風等の影響が出ないよう願う。
- 中華料理

 - ・お盆休みがカレンダー通りだと短いと思っていたが、観光客のお客さんが「山の日」効果なのか8月中は沢山の方が来店してくれた。
- 喫茶

 - ・天気が良好でお客様が沢山来てくれたので売上が良かった。冷えた飲み物がよく売れた。松本城を訪れる観光客は増えているが、来客数は減少している。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 9.1
販売客数	▲ 25.0	0.0	8.7	▲ 9.5	2.1	▲ 23.1	▲ 2.3	▲ 6.8	▲ 2.3	▲ 11.7	▲ 15.5	▲ 8.7	▲ 4.5
販売客単価	▲ 18.2	6.8	8.7	▲ 4.7	4.3	▲ 23.0	0.0	▲ 2.2	4.5	9.3	▲ 4.4	▲ 4.4	4.5
営業利益	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0	▲ 15.9
見 通 し	9.1	6.9	2.2	0.0	0.0	2.6	0.0	▲ 2.3	6.7	2.3	2.2	0.0	4.6

<経営者の目・見方・etc>

ソフトウェア	・東京からの案件を奪い合う下請構造に変わりなく、県内業者がエンドユーザーに向き合う場合のスキル不足が懸念される。ユーザー側もシステムの再構築を急ぐあまり、自社の業務効率化をなおざりにし、結局外観変化だけで従来と変わらない内容になる場合が多い。
情報関連サービス	・4月の介護の法改正により要支援者と小規模事業所の市町村管理への移行方針により収入減となり、小規模事業所の多くは先行き不安な経営について危惧を抱いている。また7月よりWindows10へのパソコンOSが有償となり、とりあえず無料バージョンUPをした中で、業務ソフトやネットワークでトラブルが多くなっている。Windows10での稼働については、セキュリティ環境を整えた上での実施が必要と思われる。
自動車整備 ・板金塗装	・暑さと盆休みで仕事時間が短くなり、お客様も車の事を気にしている時期ではないようである。8月は早く終わって欲しいと思う。
温泉旅館	・全般的にお客様の入りが悪かった。特に外国人のお客様の数が少なかった気がする。理由としてオリンピックや円高傾向、異常気象による災害等がその一因ではなかったかと思う。 ・イベントの催し、スポーツ関係の開催等で、宿泊客が増加した。しかし、秋、冬のギャップが心配である。 ・「山の日」効果はあったが、天気予報に悩まされた月であった。台風予想や、雨天予想にキャンセルが続出した。正確な地域の予報を出して欲しい。
ホテル	・セイジ・オザワ松本フェスティバルがビジネスにプラスとなった。 ・宿泊は「山の日」の制定、セイジ・オザワ松本フェスティバルを中心に好調であった。しかし、6月の株安以降、宴会の予約の動きがよくないので、特に9月は心配である。去年はシルバーウィークの日並びが良かったが、今年はそれほどではなく宿泊も心配である。 ・「山の日」が制定され、制定に伴うレセプションなどが開催された。お盆直前ということもあり、個人の観光利用もみられたが、12日が平日お盆前最終営業日の企業も多かったのか、大きな影響はないように感じた。
宿泊	・8月後半、台風10号報道により失速、客数減となった。「山の日」が出来、速攻性はあったがオリンピックの盛り上がりには勝てなかった。
タクシー	・新しく制定された「山の日」の記念行事やセイジ・オザワ松本フェスティバル、全日本中学校陸上競技大会等が行われたこともあって輸送人員は前年比、前月比ともに約1割の増加であった。
機械設計	・仕事量は多かったが売上は9月、10月になるため少なかった。年内は良い状況である。
ペットサービス	・8月は暑い日が続き、サマーカットの利用が増えた。ホテル利用、物販の売上は前年を上回った。来客数、売上ともに前年並みだった。
マナー講師	・夏は特に動きはない。

